

学校名	滋野小学校		
ホームページURL	なし	児童・生徒数	343名
(1) テーマ 昔にかえる	(2) 活動の単位に <u> </u> をつけてください 学級・ <u>同一学年</u> ・3～4年 5～6年・学校・ その他(<u> </u>) 該当学年 <u>6年</u>		
テーマの分類(<u> </u> -オ(<u> </u> ・ <u> </u> を加味して)) 下記の欄外記載事項を参照してください。			
(3) 活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・「昔にかえる」という学年テーマをもとにして、自分のテーマの決め出し、活動計画の立案、追究方法の模索、活動の実際、評価等全てを、自分の力で行うことを基本とすることによって、「自分自身の考えを持つ」力をつける。 ・追究過程では、必要に応じてグループとなって活動したり、お互いの活動の様子を見合ったりする中で、「自分とは違う他の人のよさを取り入れて、自分の考えを高める」ことができるようにする。 ・活動の終わり毎に、自分の追究の高まりを振り返る自己評価（教師の認め）を行い、「自分は、他の人と違うことのよさが分かり、自分に自信が持てる」ようにする。 		
(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等）	<ul style="list-style-type: none"> ・学年テーマのもとで、各自「火起こしの道具を作って、自分で火を起こしたい。」「獺の道具を調べて作りたい。」「縄文時代の食べ物を調べて調理したい。」等のテーマを決め、調査してまとめたり、実際に製作したりして、最後にはお互いの追究を体験し合う会を設けてまとめとする。 ・学習形態は、個人追究でスタートしたが、必要に応じてのグルーピングは認めた。 ・学習場所は、学校敷地内で使える場所は全てオープンとした。場合によっては、校外へ出かけての追究も認めた。（安全面での確認をした上で） 時数(40) 		
(5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等）	<ul style="list-style-type: none"> ・学年体制で、2人の担任が主に指導する場所を分担して、指導に当たっている。そのほか、教頭、専科教諭、公用技師が場合によっては、指導に当たっている。 ・子供の必要に応じて、地域の人材を紹介した。（火起こしグループに大工さん 黒曜石を使っての道具作りをしている子に、民俗資料館） 		
(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等）	<ul style="list-style-type: none"> ・時間数は、年間70時間とれるように時間割上に位置づけた。実際には、適切な時期にまとめどりをしている。 ・「総合的な学習の時間」にどの力が使われて、どの力が使われなかったのかの見極めを大切にして、教科指導に生かそうとしている。 ・家庭へは、学年・学級PTAで話題にしたり、通信で随時様子を知らせている。また、最後のまとめは、家の人を呼んで行う予定。 		
(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際）	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を基本とし、各自ファイルを持たせ毎時間の記録を積み重ねている。ポートフォリオ ・中間地点で、振り返りの時間を設け、振り返らせた。 ・教師の評価は、5つの実態の捉えに合わせて、6つの支援の観点を決めて行っている。 		
(8) 成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」における子どもたちの様子を見ていくことで、一人ひとりの子どもの力、ひいては生き方そのものまでよく見えてきた。 ・知の総合化の道筋の見極めが、課題。 		

テーマの分類 横断的・総合的な課題(-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境
 -エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題